Nine Eagles®

Instruction Manual

日本語取扱説明書

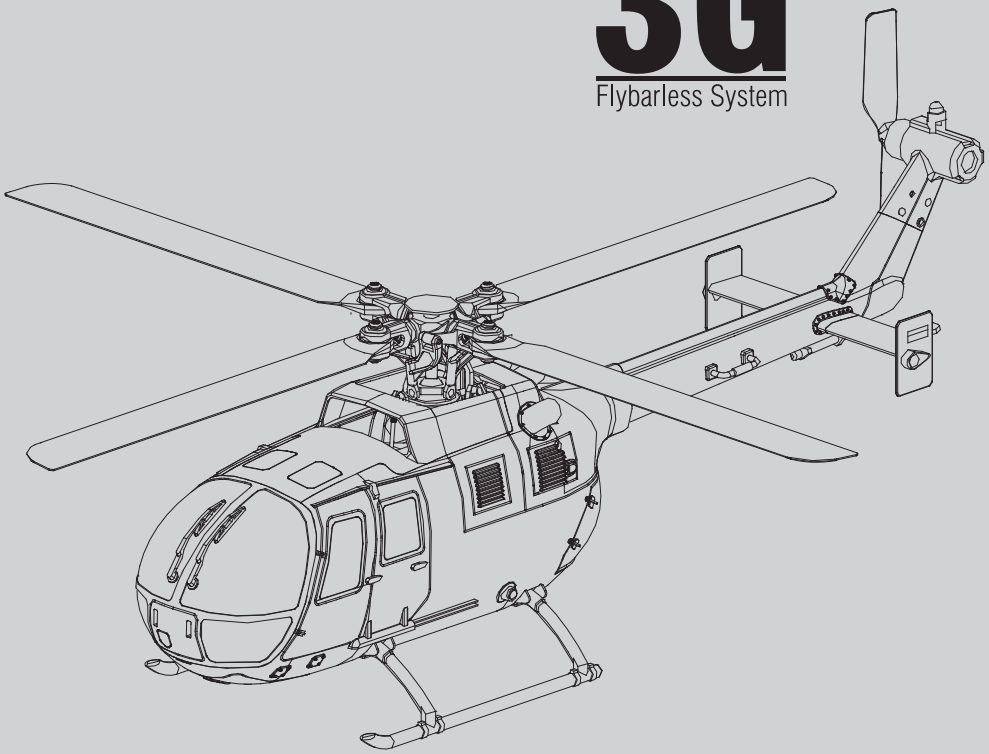
RADIO CONTROL HELICOPTER

SOLO PRO 135

2.4GHz 6CH

3G

Flybarless System



EUROCOPTER

AN EADS COMPANY

Officially Licensed Product

BO 105

NOTHING FLIES LIKE NINE EAGLES

■135A20130830

ご購入頂きましたお客様に重要なお願い

ご購入頂いた際の日付入りレシートや納品書は初期不良交換をさせて頂く場合に必ず必要となりますので、必ず保管下さいますようお願い致します。

当製品は製品の性質上、ご購入直後（2週間以内）の動作確認時に認められる不良以外、交換はお受けすることは出来ません。あらかじめご了承ください。また、返品はいかなる場合におきましてもお受けできません。

※当製品は予告無く仕様を変更する場合がありますので、最新情報は弊社 WEB サイトでご確認ください。

目次

1～2	イントロダクション・重要事項・安全のために
3	付属品一覧・スペック
4	送信機・機体の動作確認手順・フライト前の確認事項と注意点
5	電源投入方法・送信機と機体のバインド方法
6	レシーバー配線図、スワッシュ動作チェック
7	送信機の参考初期設定値・スロットル・ピッチカーブ初期設定値
8	スティック操作一覧
9	フライト前の安全確認事項・フライトを始める
10	フライトトレーニング
11	サブトリムについて・バッテリーの充電方法
12～14	機体分解図・パーツリスト
15	フライトに関するQ&A
16	新品交換保証について・修理サポート

イントロダクション

この度はSoloPro135をお買い上げ頂きありがとうございます。当製品はクラス初の４ローターシステムを採用しBO１０５のスケールデザインを余すことなく再現しております。４ローターながら最新の３Gジャイロを搭載している為、癖のないフライトが可能となっております。しかし、本製品は可変ピッチの操縦に慣れた方を対象に設計されております。操縦が難しいと感じられる場合は弊社HPスキルレベル表をご確認頂き、フライトスキルに合わせて機体を選択してください。当説明書はメンテナンスの際、必要となりますので、必ず保管くださいますようお願い致します。
それではよく説明書をお読み頂き、ご注意頂いたうえでフライトをお楽しみいただけますようお願い致します。

重要事項

当製品はおもちゃではありません。受信機や送信機は精密機器となります。取扱方法を誤ると重大な事故につながる恐れがあります。また、当製品をフライト頂くには適切なメンテナンスが必要です。十分ご理解頂いてからフライト頂けますようお願い致します。実際にフライト頂くにはご経験豊富なＲＣショップ様やフライトクラブ等、適切なアドバイスの下、安全にフライト下さい。当製品の性格上、フライトにおける損失・事故等にはいかなる保証も致しかねます。

フライト場所につきましては地域行政の指示に従って頂き、決して危険な場所でのフライトはお避け下さい。空港周辺・道路・公園・河川敷・広場などでのフライトは禁止されておりますので、十分にご注意ください。

フライト場所にお困りの際やフライト方法に不安がある際は、最寄りのＲＣ販売店様またはフライトクラブ・可変ピッチ機ご経験者にお尋ね下さい。
また賠償保険等に加入することも強く推奨致します。思わぬ事故に繋がってしまった場合に安心です。

当製品は可変ピッチ機のご経験者向けに開発された安定性の高い機体です。しかしながら、十分に可変ピッチ機のご経験がおありの方の指導を仰ぐ必要がございます。メンテナンスを怠りますと、思わぬ事故につながる恐れがございます。十分にご注意頂けますようお願い致します。

安全のために

適切な場所でフライトをしましょう

当製品をフライト頂くには、安全な場所を確保してください。当製品は高速でローターが回り、人や物に当たると大変危険です。また、周囲に建物や自動車、列車や航空機、高圧線や電線がないことも重要です。
公共の場所やＲＣ製品の使用が禁止されている場所でのフライトは絶対におやめ下さい。

経験豊富な指導者の助言を得ましょう

当製品をフライト頂くに当たり、上達への近道は経験豊富な指導者の助言を得ることです。正しい設定方法やフライト方法を身につけるには最寄りのＲＣショップ様やフライトクラブに加入して助言を得ることです。また、フライトシミュレーターを活用することも十分な効果を得ることが出来ます。

適切なメンテナンスが必要です

ヘリコプターを操作する際は、高速に回転するメインローターやテールローターに十分ご注意ください。操縦者とヘリコプターとの間隔は必ず3m以上離れてください。特にスピンドルシャフトが緩んだままスロットルを上げますと、ローターブレードがローターグリップごと吹き飛ぶ原因となります。事故や怪我がないように、適切なメンテナンスを心がけてください。
また、メンテナンス中に電源を入れる際は、必ずメインモータが回らないようにモータ配線を外し、不測の事態に備えてください。ローターブレードトラッキング調整時にはメインモータを回す必要があるため、安全のためにゴーグルを用意頂くなど、十分に安全に配慮してください。
当製品の性格上、初めてフライト頂く前にも必ず各部点検（ネジの緩みや電子パーツの動作確認など）を行ってください。

当製品をフライト頂くに当たり、初フライトを含め、各部点検を確実に行ってください。破損個所がある場合は、速やかにパーツ交換を行ってください。破損個所があるままフライト頂くと重大事故につながる恐れがあります。また、製品は直射日光に当たる場所や自動車内に放置しないでください。プラスチックが変形する恐れがあります。

⚠ WARNING Li-Poバッテリ 取り扱い上の注意（必ずお読みください）



Li-Poバッテリは小型軽量で高性能ですが取扱を誤ると大変危険な電池です。
最悪の場合、火災・死亡事故に至る危険性を持つことを十分に理解して慎重にお取り扱い下さい。
その為に当説明書を必ず最後までお読みになり、注意事項を厳守下さるようお願い致します。

1.取扱上の重要事項
- LiPoバッテリを使用するにあたり、必ず正しい取扱い知識を習得してください。
- 設定が正しい充電の場合でも、各セルの電圧のばらつきにより発火する可能性があります。
- 充電は燃えやすいものが近くにない場所で、目を離さないように行って下さい。
- 過充電の火災に備えて消火器等を備えてください。
- 充電は必ず付属の送信機または専用充電器をご利用下さい。
- 送信機・専用充電器での充電のみご利用頂き、機体以外での放電は行わないで下さい。
- 本製品は模型用充電式リチウムポリマー電池です。他の用途には使用出来ません。
- 変形や臭い、変色等の異常を見付けた場合は使用しないで下さい。
- 電池パックを絶対に分解・改造しないで下さい。
- 過放電してしまったバッテリはご使用頂くことができなくなります。放電し過ぎないようご注意ください。
- 軽い過放電でも繰り返してしまいますとLiPoバッテリが次第に傷んでいきます。
- LiPoバッテリは消耗品となりますので、初期不良品以外の交換・返品は致しかねます。

2.充電時の注意
- 充電中は離れずに常に監視をして、異常事態に対処して下さい。
- 万一充電中にリチウムポリマーバッテリーが膨れ始めたら直ちに充電を中止してください。（さらに充電し続けると爆発します）バッテリーを外して安全な場所で様子を見て下さい。
- リチウムポリマー電池にはメモリ効果がないため、放電無しで追加充電するだけで使用可能です。
- 送信機で充電頂く際はスイッチを切っても微弱電流が流れるため、その状態で数時間放置すると過放電になってしまいます。充電完了後は、バッテリーを必ず送信機・USB充電器から抜くようにして下さい。
- 充電中は電池と充電器を不燃性の台の上に設置して下さい。
- 充電器は高温になりますので、火傷にご注意下さい。
- 充電が完了したら必ず電池を充電器から取り外して下さい。
- 充電前に電池をよく確認して、少しでも膨らんでいる場合は、ダメージを受けている恐れがありますので、絶対に充電（使用）しないで下さい。
- 充電は電池温度が0～35度の範囲で行って下さい。

3.機体がクラッシュ（墜落）した場合
- 墜落や衝突で電池が強い衝撃を受けた場合、膨張発火の恐れがありますので、発火しても火災にならない場所に暫く放置して様子を見て下さい。
- 強い衝撃を受け、内部構造が変形した電池や、被覆が破れた電池は使用出来ませんので適切に破棄して下さい。

4.電池の保管・保存
- 必ず丈夫なケースに入れて保管し、コネクタの端子間がショートしないように注意して下さい。
- 電池のラミネート被覆は絶対に穴を開けないで下さい。発火の恐れがあります。
- 保存可能温度は-20～60度ですが、性能を保つためには10～50度の範囲内の乾燥した場所に保存して下さい。25度での保存が最も性能劣化を防げます。
- 車内など60度以上の高温状態に放置すると発火する場合があります。
- 長期保存の場合、少なくとも6ヶ月に一度は充電→放電→保存充電を行い、性能を維持して下さい。
- 電池から液が漏れていた場合、直接手を触れないで下さい。
- 満充電で放置しないで下さい。気温が上昇した場合は電圧が上がり、過充電状態になり電池が膨らみ危険です。保存する場合は50～70％程度の充電量で保存して下さい。

5.電池の運搬・廃棄
- 電池の運搬中は電池表面に力が掛からないようにケースに入れて運搬して下さい。
- 電池を破棄する場合は約二日間、５％程の食塩水に浸しください。電池が完全に放電され不燃物として破棄することが可能です。
- 絶対に火の中に投じないで下さい。破裂します。
- 電池をリサイクルする場合は、詳しい方法をお近くのリサイクル協力店様にお問い合わせいただき、適切に行ってください。

付属品一覧



名称	数量
SoloPro135機体	1
J6送信機（SLT仕様）	1
ACアダプタ	1
充電用変換コネクタ	1
充電器	1
LiPoバッテリ	1
精密ドライバ	1
予備テールローター	1

※別途、送信機用単三乾電池8本が必要です
画像はRTFパッケージのセット内容です。

スペック

Main rotor diameter: 9.6"(245mm)
Tail rotor diameter: 2.2"(56.5mm)
Overall length: 9.3"(236.2 mm)
Overall width: 2.7"(68.1mm)
Overall height: 3.4"(85.5mm)
Whole weight:About 2.90oz(89g)

Model No.: NE-R/C 135A
TX:NE-T008(6CH 2.4GHz)
Servo:1.9g digital servoX3
RX:R/C135 A: 3 in 1(including: gyroscope、Mixer、2.4GHz receiver.)
Motor system. 1412 brushless motor
Battery:3.7V 600mAh Li-Po
Esc:10A

EUROCOPTER
AN EADS COMPANY

SoloPro135は実機として存在するEUROCOPTER社BO105を忠実に再現したモデルです。NineEagles社はEUROCOPTER社より正式にライセンスを取得しております。当製品の版権はEUROCOPTER社に帰属します。

送信機・機体の動作確認手順（必ずご購入直後・各フライト前に動作確認を行います）

【機体破損の有無を確認します】

1.機体・送信機・付属品が揃っていることを確認し、欠品がないかをご確認ください。

2. 機体・送信機・付属品に破損がないかどうかよくご確認ください。ご購入直後に初めて開封した際に破損を発見した場合はフライトさせずに弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

【プロポの動作確認手順】

1.プロポの電源を入れ、エルロン、エレベーター、ラダー、スロットル、ピッチの各種スティック動かして引っ掛かりがないこと、液晶画面のポテンションインジケーター（トリムポジション表示）がスティックに追従していることを確認してください。

2.トリムスイッチを操作した時、すべてのトリムが正常に増減していることを液晶画面の数値で確認してください。その他スイッチ類が正常に切り替わることを確認してください。

3.3軸ジャイロ搭載機についてはJ6送信機のスイッチを操作してモードメニュー、アドバンスセットアップモードに切り替わるか確認してください。その時ダイアルとプッシュが正常に機能していることを確認してください。

4.液晶画面にMIXの文字が表示されていないこととスワッシュモードの状態が90度であることを確認してください。

【機体の動作確認手順】 ※危険なのでローターブレードは外した状態でご確認ください

1.機体を手でお持ち頂き、若干スロットルを上げてから、前後、左右に機体を傾けてみて傾きに応じてサーボが反応している様子を確認してください。テールを左右に振ってラダーサーボが反応していることを確認してください。

2.プロポでエルロン、エレベーター、ラダーのスティック操作をした時、機体のサーボがスティックに追従して動いていることを確認してください。

3.機体を安全のため地上に置き、スロットルスティックを操作しメイン、テールのモーターが回りピッチの角度がだんだんについていき揚力が発生していることを確認します。

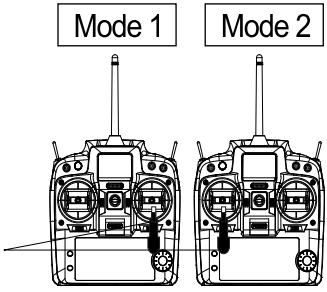
4.各部ビスの緩みがあれば増し締めしてください。アルミパーツはネジロック剤をご使用ください。パーツの取付に不備があるとフライト中に破損・飛散し大変危険です。十分確認して頂き、安全を確保して下さい。フライト中の損傷・事故については当社は一切の責任を負いません。お客様ご自身で保険に加入するなど対策を講じてください。

フライト前の確認事項と注意点

⚠ご注意

◎ 各部ネジに緩みがないか十分確認してください。緩みがある場合は必ず増し締めしてください。

◎ 送信機の乾電池容量や機体のLiPoバッテリが十分充電されているか確認してください。



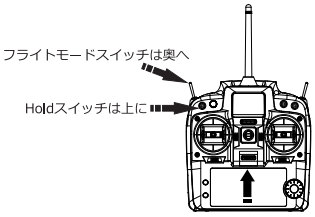
■ 送信機の電源を入切する際の注意

⚠ご注意

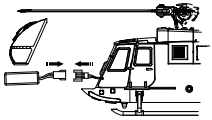
◎ 送信機の電源を入れる際は必ず、スロットルスティックは最スロー位置にしてください。

電源投入方法

1.送信機の裏蓋を開け、電池ボックスに単三電池８本を＋－に注意してセットします。
2.送信機の電源を入れ、液晶表示が正しいことを確認します。この際、F.M/GEARスイッチを「通常フライト」、Holdスイッチを押し上げた状態で電源を入れてください。
(※スイッチが正しい位置にないとエラーとなり、正しく起動できません)
3.機体を水平な場所におき、受信機側端子とLiPoバッテリ端子を繋ぎます。そののちにバッテリスロットに挿入します。
4.機体が操作できるようになるまで、１０秒程度お待ちになり、動作を確認します。



○送信機の電源を入れます


○機体側コネクタとLiPoバッテリを接続してからバッテリスロットに挿入します

送信機と機体のバインド方法 ※必要な場合のみ行ってください

機体と送信機のバインドは、工場出荷時に済んでいますが、ごく稀にバインドが切れている場合があります。この場合、次の手順で機体・送信機のバインド設定を行って頂く必要があります。
また、送信機・受信機・機体を交換した際もバインド設定が必要となります。

バインド手順

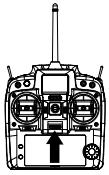
1.送信機の電源を入れます。
※スロットルスティックは最スロー状態に、
スロットルトリムは中立以下に設定して下さい。

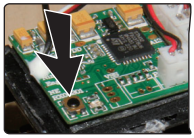
2.機体のバッテリを接続します。受信機のLEDがゆっくりと点滅します。このとき、受信機内にあるバインドボタンを精密ドライバなどで押し込みます。

3.バインドが完了すると、受信機内のLEDが高速点滅に変わります。各サーボが動作するか確認してください。

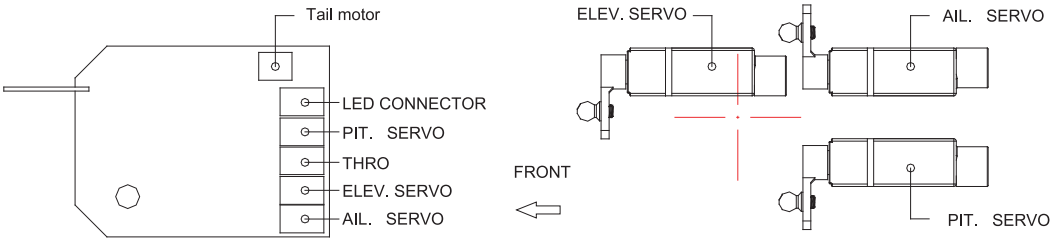
ご注意！

バインドを行う場合、送信機と機体（受信機）を10cm程度に近づけて実施してください。


○送信機の電源を入れます

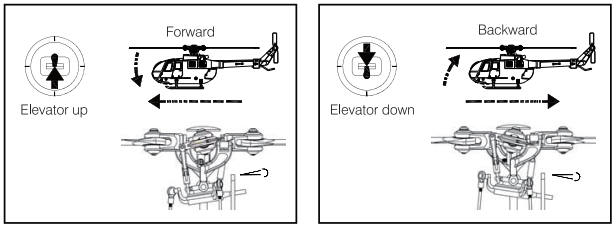

※機体全面と上部のカバーを外すと画像のようなメイン基盤が現れます。

レシーバー配線図

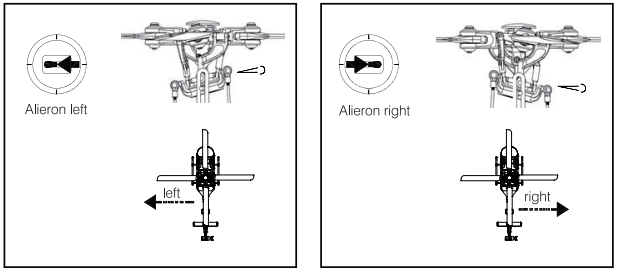


スワッシュプレート動作チェック

Elevator



Alieron



送信機の参考初期設定値

チャンネル		設定値	カーブ設定値					D/R設定値	
			1	2	3	4	5	Narrow	Wide
CH1		NOR	-15E					80	100
CH2		NOR	-15E						
CH3		NOR	0	55	75	85	100		
CH4		NOR	0E						
CH5		NOR	Sensitivity (20-25)						
CH6	Normal	NOR	45	50	55	62	70		
	3D		25	39	52	63	75		

※チャンネル設定を行う場合は安全の為、必ずメインローターを外してください。

表のCH１、２、４は各舵のEXPの数値を表しております。
EXP（エキスポ）は各舵のニュートラル付近の舵の効き具合を調整します、ーに数値を増加させると機体の動作がマイルドになります。

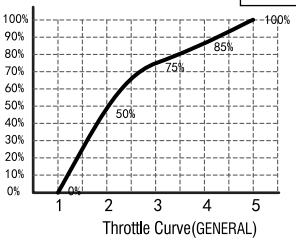
ピッチ・スロットルカーブ初期設定値

※ピッチカーブを初期値に戻す場合はまず、ピッチカーブの数値をデフォルトの数値にします、次に機体の電源を入れ送信機のHoldスイッチを下に下げ、スロットルスティックを中立にします。そしてこの時にブレードの角度がゼロ度になるようにリンケージで調整します正確にゼロ度を確認する場合は弊社製品（マイクロピッチゲージ品番　44211)をご使用ください。

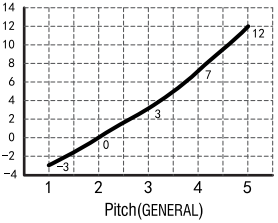
通常フライト

	Throttle	Pitch
5	100%	12°
4	85%	7°
3	75%	3°
2	50%	0°
1	0%	-3°

ラダージャイロ感度　25%



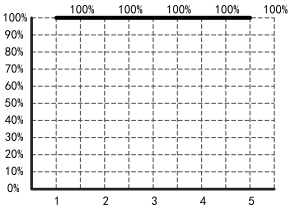
Throttle Curve(GENERAL)



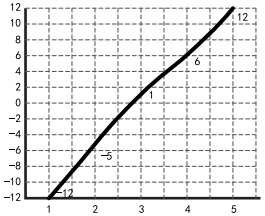
Pitch(GENERAL)

3Dフライト

	Throttle	Pitch
5	100%	12°
4	100%	6°
3	100%	1°
2	100%	-5°
1	100%	-12°



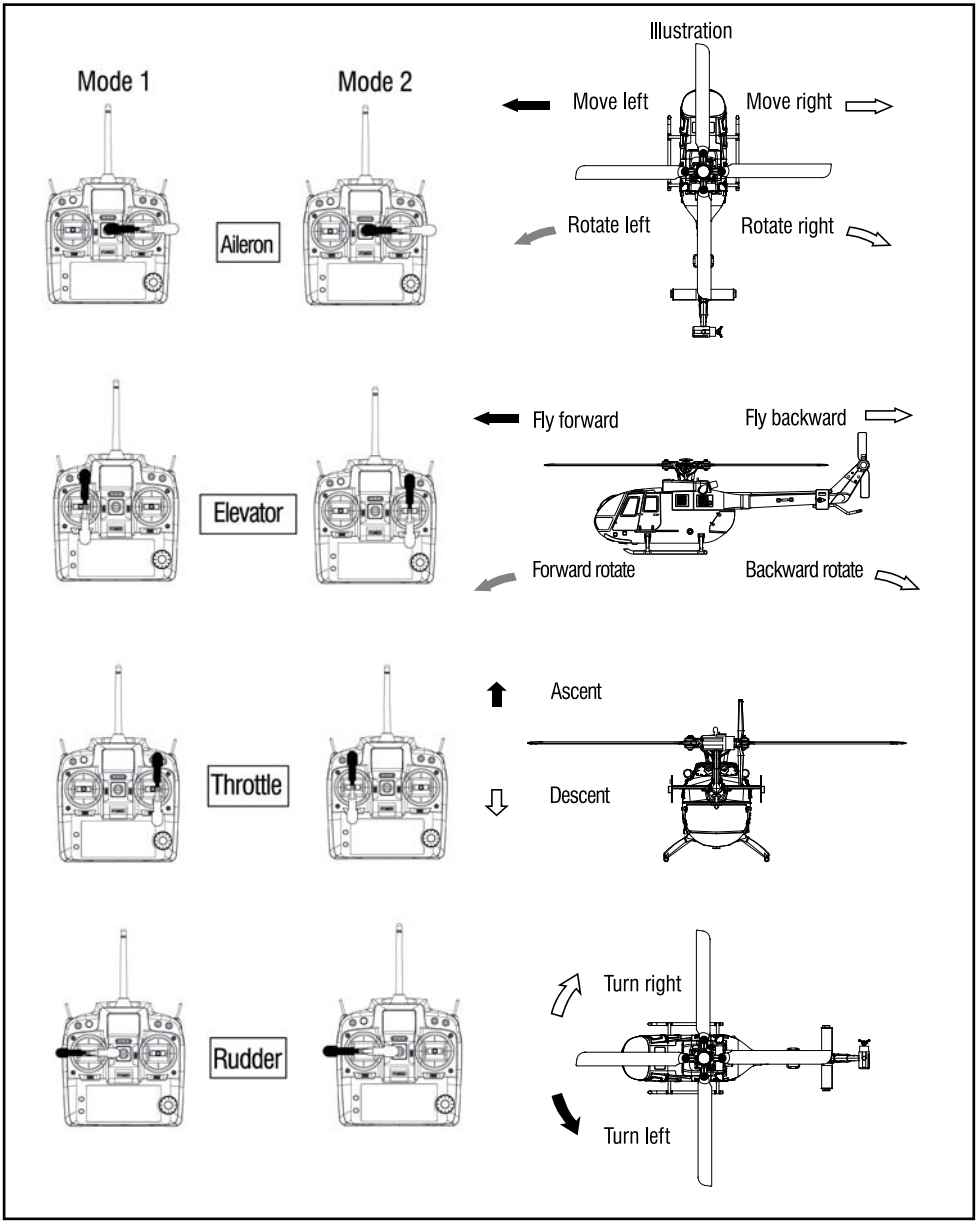
Throttle(3D)



Pitch(3D)

※３Dのスロットルカーブの変更は送信機のHOV./Tダイアルで行えます。
右一杯に回すことで出力が最大となります。

スティック操作一覧

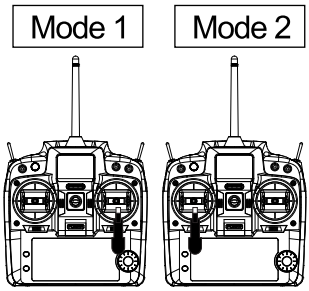

Mode 1
Mode 2
Aileron
Elevator
Throttle
Rudder
Illustration
Move left
Move right
Rotate left
Rotate right
Fly forward
Fly backward
Forward rotate
Backward rotate
Ascent
Descent
Turn right
Turn left

■フライト前の安全確認事項

⚠ ご注意!

1.LiPoバッテリが正しく満充電されているか確認します。
2.ピッチ角が大きすぎないか（適正値になるか）確認します。
3,メインローターブレード取り付けネジが固く締めつけられていないか確認します。
※メインローターブレードが自由に動くよう調整します。
4.メインローターやテールブレードに振動がないかどうか確認します。
※振動がある場合はスピンドルシャフトやメインマストに歪みがないか確認します。
※同時にメインロータートラックにズレがないことを確認し、異常がある場合は
リンケージで調整します。（本モデルは調整用リンケージはありませんので
トラックのズレが発生した場合はスピンドルが曲がっている可能性があります。

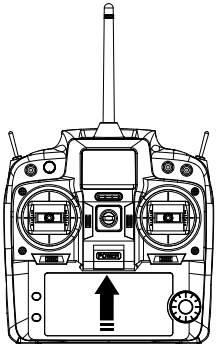
5.メインギアとメインモーターピニオンギアの噛み合わせに問題がないか確認します
6,各部ネジに緩みや抜けがないか確実に確認します。緩みがある場合は増し締めします。
これを怠るとフライト中に分解・墜落する恐れがあります。
7.フライト前には必ず送信機の電池残量が十分にあるか、機体用LiPoバッテリが十分に
充電されているかご確認ください。
8,機体に電源を入れる前に、毎フライトごとに必ず各部点検を行ってください。ネジに
緩みがないかどうか、パーツに破損がないか十分に点検してください。
9,各ボールリンケージが正しく動作しているか点検してください。正しくボールリンケ
ージにリンケージロッドが取り付けられていないと、正しくフライト出来ません。
10,機体にLiPoバッテリを接続したら、速やかに平らな地面に置き、10秒程度機体に手
を触れないでください。これはジャイロが正しく動作するために必要です。
11,送信機の電源を入れる際、スロットルスティックは必ず最スローにしてください。
12,機体のバッテリを繋ぎ、サーボが正しく動作しているか確認してください。
13,サーボ内のギア欠けがないか、動作させて確認してください。
14,フライトを終える際は、必ず機体側のLiPoバッテリから取り外してください。その
のち、送信機側の電源を切って下さい。
15.LiPoバッテリはしっかりと固定してください。フライト中に外れると、バランスを
崩し、墜落する恐れがあります。



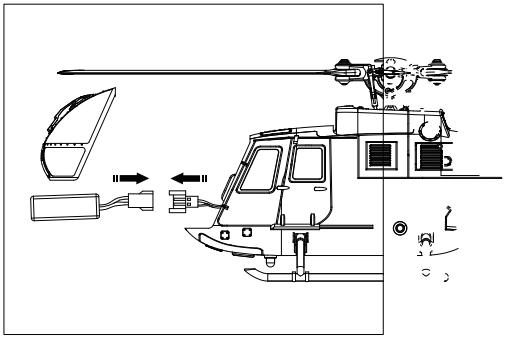
送信機の電源を入れる際はスロットルスティックを最スローにしてください。安全機構が働き、モータが回らない仕組みを採用しています。

フライトを始める

1,送信機背面電池カバーを外します。
2,電池ボックスに単三電池を8本＋－に気をつけて取付けます。
3,電池カバーと元に戻し、送信機電源を入れます。LEDが点灯（赤・青）したことを確認します。
4,機体のLiPoバッテリを受信機から伸びているコネクタに向きに注意して挿入します。
この際、機体を水平な面に置き、ジャイロが正しく起動できるよう注意して下さい。



1.送信機の電源を入れます



2.機体のLiPoバッテリを繋ぎます

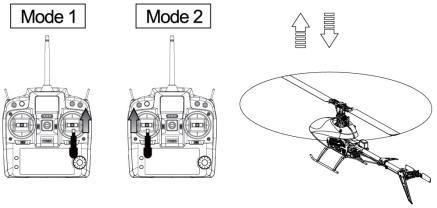
フライトトレーニング

⚠ご注意!

必ず周囲の安全を確認してください。人や物があると大変危険です。操縦者から機体まで安全のため、5m以上離れてください。もちろん事前にスピンドルシャフトなどのネジに緩みがないかどうか確認してください。これを怠ると重大な事故・怪我に繋がります。十分ご注意ください。

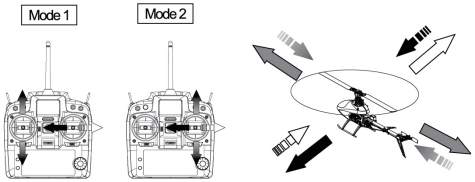
STEP 1 スロットルコントロールの練習

スロットルを上げ、機体が上昇し始めたらゆっくりとスロットルを下げ、安全に機体を着地させます。この際、スロットルだけでなく、エルロンやエレベータを細かく機体が動く方向とは逆に軽く当て、機体が水平な状態を保てるように練習します。



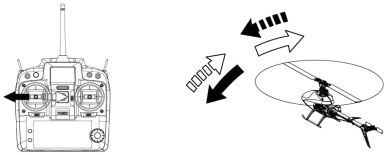
STEP 2 エルロン・エレベータコントロールの練習

機体を地上から10cm程度のところでホバーリングさせ、エルロン・エレベータを切り、どの程度のスティック操作で反応するかを確認します。その場で静止させる練習を繰り返し行います。
操作が分らなくなったら、慌てず直ぐに着陸させます。
地面に近い高さで練習を行えば万が一の際に機体のダメージを少なくすることができます。



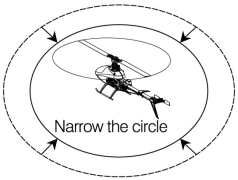
STEP 3 ラダーコントロールの練習

1.スロットルをゆっくり上げます。
2.機体は上昇させずにラダーを操作して、ラダー操作に対してどの程度反応するか確認します。



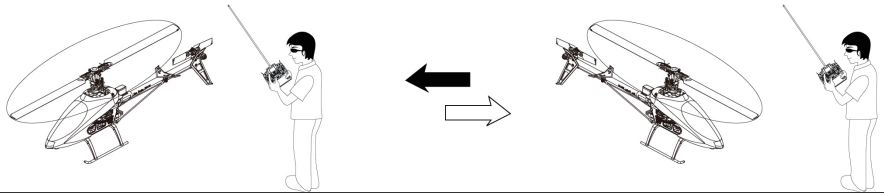
STEP 4 総合的な操作の練習1

各ステップを十分習得したら、思い通りにコントロール出来るよう低空で練習します。大きくスティック操作せず、小刻みにスティック操作する癖をつけるようにしてください。



STEP 5 総合的な操作の練習2

機体ポジション（対面など）に関わらず安定してホバーリング出来るようスティック操作を練習します。この際も、機体を高空に上げず、低空で練習します。慣れてきたら徐々に高度を上げていきます。



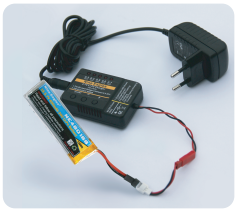
サブトリムについて

・固定ピッチ機は機体の調整にメイントリムを使用しますが、本製品のような３Gジャイロ搭載機の場合は通常、調整にトリムは使用しません。

NE製の可変ピッチ機をホバリングさせた時、何れかの方向に著しいドリフトが発生する場合はスワッシュプレートと接続している３つのリンケージの長さを調整します。
機体が前進してしまう場合はニュートラルに注意しながら、リンケージの長さを調整し予めスワッシュプレートを後方に傾けます。（※改善しない場合は大きくスワッシュを傾けてください）

リンケージ調整を行ってもドリフトが改善しない場合はメイントリムを使用します。
しかし、NE製可変ピッチ３Gジャイロ搭載機でトリム調整する場合はトリムを取った後、電源を切り次の飛行させる際は再度トリム調整が必要となります。
（※フライト毎にトリム調整が必要です。）

バッテリの充電方法



製品の能力を発揮するために当製品には必ずNineEagles製当機種専用LiPoバッテリをご使用ください。

充電中は不測の事態に備え、必ず監視するようにしてください。
また、燃えやすい素材をバッテリ・充電器付近に置かないようご注意ください。

充電時間目安：40～90分（残量によって変化します）

1.ACアダプタを専用充電器に接続します。
2.ACアダプタを家庭用コンセント（AC100V）へ接続します。
3.充電器の赤LEDが点灯したことを確認します。
4.専用LiPoバッテリを充電器へ接続します。この際、変換コネクタを介する必要があります。
5.充電器の赤LEDが点滅し、充電開始をお知らせします。
6.充電が完了すると、全てのLEDが点滅し、アラーム音が鳴って充電完了をお知らせします。
7.充電が完了したら速やかにACアダプタをコンセントから外します。
LiPoバッテリも充電器から取り外して下さい。

※当製品に付属の充電器は充電アンペア数を選ぶことができます。「0.3～0.7」アンペアを選択できます。ただし、高いアンペア数で充電した場合、充電時間は短くなりますがより安全に充電頂くために0.5アンペアをお使いください。

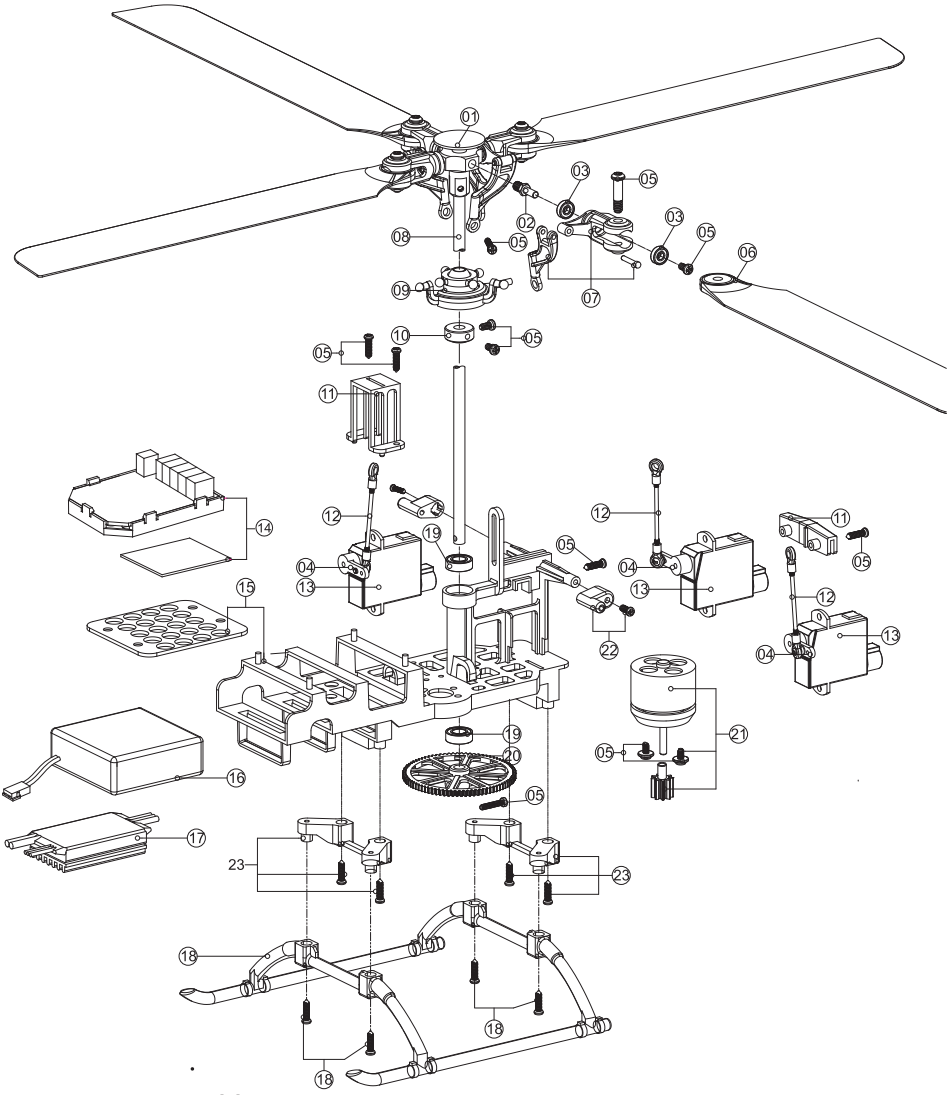
※また、＋－キーで数値を変更した後、すぐに「START」ボタンを押し込み、数値を確定させる必要があります。そののち、再度「START」ボタンを押しこむと充電が開始されます。

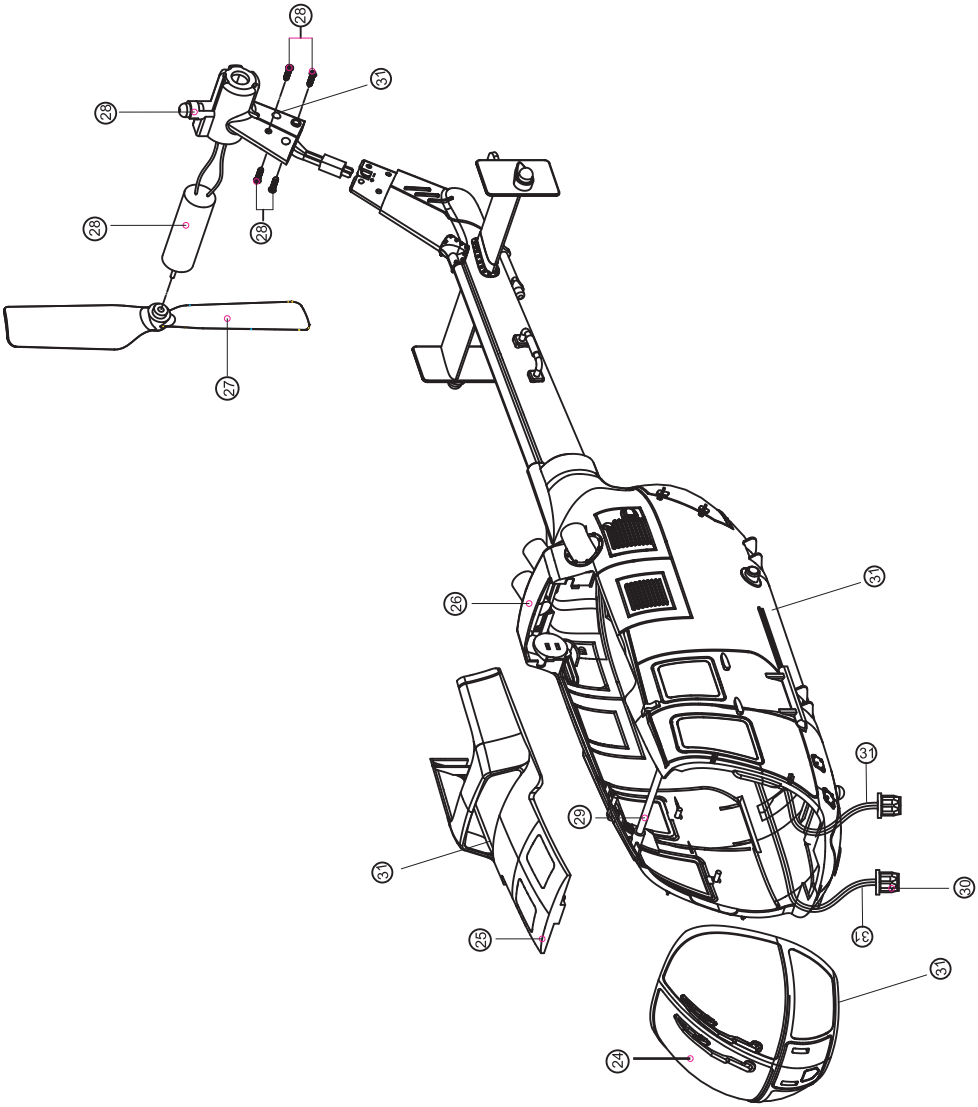
※稀にバッテリを充電器につないだ際、赤・緑LEDが点滅する場合があります。これはバッテリ自体がご使用いただけない状態となっていると起こります。過放電してしまったバッテリをつないだ際も同様です。

※バッテリを充電器につないでも緑LEDが点滅しない場合、バッテリがご使用いただけない状態になっている可能性があります。別のバッテリをご用意頂き、動作をご確認下さい。

SOLOPRO135 Exploded View

BO105 分解図




29
31
28
28
28
27
26
37
31
29
30
31
33
29
33
24

No.	Item No.	Name	No.	Item No.	
01	NE400432	ローターヘッド	24	NE400847	キャノピー(グリーン)
02	NE400433	スピンドルシャフト	24	NE400895	キャノピー(ブルー)
03	NE400434	ベアリングセット	24	NE400896	キャノピー (イエロー＆ブルー)
04	NE400454	サーボロッカーアームセット	25	NE400850	アッパーキャビン(グリーン)
05	NE400436	スクリューセット	25	NE400897	アッパーキャビン(ブルー)
06	NE400437	メインブレードセット	25	NE400898	アッパーキャビン (イエロー＆ブルー)
07	NE400438	ロータークリップセット	26	NE400888	キャビンSoloPro135(グリーン)
08	NE400022	メインシャフトセット	26	NE400899	キャビンSoloPro135(ブルー)
09	NE400439	スワッシュプレート	26	NE400900	キャビン SoloPRo135 (イエロー＆ブルー)
10	NE400024	カラーセット	27	NE400889	テールブレード(ブラック)
11	NE400440	サーボ固定マウント	27	NE400448	テールブレード (ホワイト)
12	NE400026	アンダーリンケージセット	28	NE400890	テールモーターセット （グリーン)
13	NE480188	サーボセット	28	NE400901	テールモーターセット （ブルー）
14	NE480303	受信機 (SLT)	28	NE400902	テールモーターセット （イエロー＆ブルー）
15	NE400442	メインフレーム	29	NE400876	カーボンバーセット
16	NE480169	Li-poバッテリー(3.7V 600mAh)	30	NE400853	テールモーターコネクター
17	NE480175	1 0 A ESC	31	NE400891	キャビンセット（グリーン）
18	NE400846	スキッド	31	NE400903	キャビンセット（ブルー）
19	NE400444	682 ベアリングセット	31	NE400904	キャビンセット（イエロー＆ブルー）
20	NE400445	メインギア			
21	NE480171	ブラシレスモーターセット 2			
22	NE400851	キャビンサポート			
23	NE400852	スキッドサポート			

※各種パーツは改善のため、予告なく仕様変更および形状変更する場合がありますので
ご了承下さい。最新情報は弊社Webサイトにてご確認頂けます。
http://www.hitecrcd.co.jp/

フライトに関するQ&A

Q. 正しくジャイロが作動している状態でスロットルを上げていくとスワッシュプレートが左右一方に傾き、離陸時に機体が傾いてしまう。

A. この現象は3軸ジャイロ特有の動作です。従来のスタビ付き固定ピッチ機に比べ、離陸時に細かなスティック操作が必要となります。離陸後はジャイロがしっかりと機能しフライバーレスの癖を補正します。

Q. 機体にバッテリーをつないだ後ジャイロ動作の確認のため機体を傾けたがサーボに反応が無いので、ジャイロが効いていないのではないか？

A. この現象は3軸ジャイロの仕様となり、スロットルを若干上げた状態で初めてジャイロが反応するようになっているため、スロットルオフの状態ではサーボの反応がありません。スロットルをほんの少し（数値で5～10%程度）上げた状態で機体を振るとジャイロが作動し、スワッシュプレートが水平に保たれる事が確認できます。

Q. スロットルを上げても機体が浮き上がらない

A. P のピッチカーブ、スロットルカーブ初期値を再度ご確認ください、サーボがスティックの操作に応じて動作しジャイロの反応とモーターの回転に異常がなくピッチ角度が適正であれば機体は上昇します。

Q. 機体から異音がする。

A. サーボの動きに異常があり、機体から異音がする場合はサーボギアが欠けている可能性があります。
サーボに異常がなく機体から異音がする時はメインギアの一部が欠けて異音が発生していることが考えられます。
本製品は小型軽量のため、大型のRCヘリコプターと比較すると墜落によるダメージを受けにくくなっておりますが、誤った操作を行いブレードが地面を擦った時にモーターパワーが入っていたり、大きく舵を操作してしまうとギア欠けの原因となります。

Q. ホバリング時に異常はないが、離陸時に機体が回転する

A. 本製品はテールモーター式の為、初めのローター回転時はテールとメインローターの回転にズレが生じます。
これにより初期回転時は機体が振れてしまいますが、異常ではございません。

Q. ホバリング時に機体が回転してしまう。

A. テールローターの取り付け向き、テールモーターの寿命、これらに異常がなければ
ジャイロの起動不良の可能性があります、再度電源の抜き差しを行い機体をリセットしてください。

離陸時のPoint

離陸時に機体の傾き状態や舵の反応を見ながら慌てずに逆に少しだけ舵を当てて下さい。メインローターと地面が接触しそうな場合は、一度スロットルを最スローにして頂き機体が安定してから再度離陸して下さい。

新品交換保証について

万一機体が大破してしまった際、弊社では定価の約半額で新品に交換できる「新品交換保証」制度があります。

「新品交換保証」を適用させて頂くには、弊社で販売されたことを証明する「元箱」・「日本語説明書」・「機体など付属品一式」を弊社へお送りください。その際、【修理依頼票】にご記載頂けますようお願いいたします。

新品交換保証とは？・・・定価の約半額で全く新しい商品をお送りする制度です。破損してしまった場合、修理金額が高額となる場合、新品交換保証を適用させて頂く場合もございます。あらかじめご了承ください。

新品交換保証額：（税抜き表示）
フルセット　２２０００円
プロポレス　１６０００円

修理・サポートについて

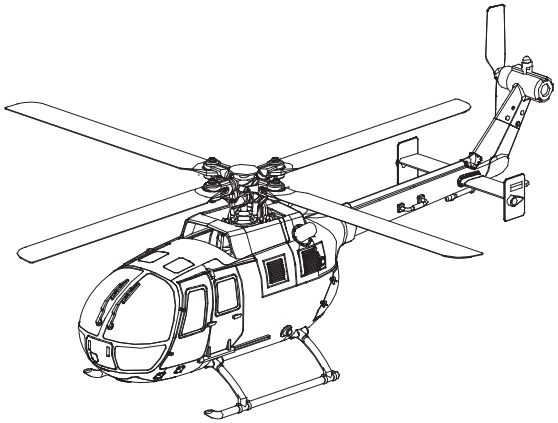
お求めいただいた商品にトラブルが発生した場合や技術的なご質問がある場合はまずＰ１５のQ＆Aをご覧いただいた後、販売店様または弊社カスタマーサポートにお問い合わせください。
また、弊社サポートページにはトラブル解決のためのヒントがあります。
http://www.hitecrcd.co.jp/support/index.htm

修理サポートをご要望の場合は、別紙の「故障かなと思ったらお読みください」をご覧頂き、弊社まで商品一式をお送りください。お電話またはお問い合わせフォームをご利用頂くことで解決できる問題も多くございますので、トラブルがあった際はお送り頂く前に弊社カスタマーサポートまでご連絡頂けますようお願い致します。

スペアパーツつきましては弊社オンラインショッピングや機体をご購入された販売店様にてお求めいただけます。
お近くの販売店様をお探しの場合は弊社HPのお取り扱いショップ一覧をご覧ください。
http://www.hitecrcd.co.jp/shop/index.htm

Nine Eagles

www.nineeagle.com



◎輸入販売元・お問い合わせ

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10 1F

株式会社 ハイテック マルチプレックス ジャパン

Nine Eagles 専用ダイヤル：03-6458-0191

受付時間：月曜日～金曜日（祝祭日・夏期休暇・年末年始を除く）

１０：３０～１２：３０、１３：３０～１６：３０

Web Site : www.hitecrcd.co.jp

こちらのお問い合わせ先はカスタマーサービス専用ダイアルとなっております。
お電話でのご注文は承る事ができませんので予めご了承の程お願い致します。

Copyright © 2013 Hitec Multiplex Japan, Inc. All Rights Reserved.

日本語取扱説明書

Ver1.0 2013/12/10